

令和6年度 桂城小学校 地域学校協働本部の取組

1 事業の内容及び実施方法

(1) 学習支援活動・授業補助活動の実施

①学習支援活動

- ・生活科「はなをさかせよう」等の花壇作業補助
- ・総合的な学習の時間（桂城鶏めし弁当販売等）や家庭科（ミシン等）の授業支援
- ・クラブ活動支援（将棋）
- ・大館国際情報学院高校の生徒によるプログラミング教室
- ・体験学習への支援（ふるさとドリーム集会の講師依頼など）

②児童の安全確保

- ・登校指導（毎月2回、13箇所）

(2) 環境整備支援

- ・グラウンドや花壇の整備作業
- ・校内の窓拭き作業

2 成果と課題

<成果>

- ・昨年度に引き続いて、校外に積極的に出かけて活動した。その際、多くの地域の方々と関わりをもち、風土などについて詳しく学ぶことができた。また、桂城公園やバラ園では奉仕活動を行ったが、今年度は他の小学校や幼稚園・保育所とも連携することができた。大人との関わりに加え、同学年という横のつながりや異年齢という縦のつながりができつつあることが大きな成果であった。
- ・今年度も16の職業の地域の方、32名を講師に迎え「ふるさとドリーム集会」を開催した。地元にある職業の話を聞いたり体験したりすることで、社会貢献力の素地づくりにつなげることができていると実感している。
- ・学校運営協議会での話し合いを基に、民生児童委員の方々と連携することができた。また、ラジオ体操の会や高校などと新たなつながりをもつこともできた。専門的に学ぶことができるよい機会なので、今後も継続していきたい。

<課題>

- ・昨年度まで継続していた読み聞かせを行うことができなかった。地域コーディネーターとの連携を軸に、復活できるよう検討したい。

<地域コーディネーター（三浦真紀子さん）のコメント>

- ・桂城小学校では「ふるさとドリーム集会」や「桂城鶏めし弁当」などを通して地域を知り、地域の方々との関わりをととても大切にしています。大館シャイニングストリートと共に点灯した“150”の光も150周年の歴史を大きく照らしました。この関わりが今後も長く続くよう、そして、地域と共に笑顔のあふれる学校であるよう、コーディネーターとして微力ながら支えていきたいと思っております。1年間ありがとうございました。

3 「桂城鶏めし弁当2025」

本校では、ふるさとキャリア教育の一環として、花善の協力を得て2017年から弁当作りに取り組んでいる。今年度も6年生が、SDGsの学びを生かして、「地域の食材の活用」と「環境に優しい」をテーマに、桂城鶏めし弁当を完成させることができた。アメッコ市当日に販売活動を行い、予定していた2025食が完売となったが、今回は、売上の一部を豪雨による甚大な被害があった上小阿仁村に寄付した。6年生は今回の活動を通して、地域貢献への意識を高め、自分たちも役に立つことができた、という達成感を得た。今後も地域の協力を得ながら、継続して活動に取り組んでいきたい。